

コンフォートデルグロ

2015/12 通期は国内・海外事業拡大への期待から増収増益の見通し

シンガポール | 運輸サービス | 業績レビュー

BLOOMBERG CD:SP | REUTERS CMDG.SI

- 2015/12 期 1Q (1-3 月) は売上高が前年同期比 1.3%増の 9.64 億 SGD、純利益が同 6.8%増の 6,760 万 SGD となった。
- 全 8 セグメントのうち 5 セグメントが増収、好調に推移した主力のバス及びタクシー事業が収益に寄与した。
- 2015/12 通期の市場予想は売上高が前期比 4.6%増の 42.37 億 SGD、純利益が同 9.9%増の 3.12 億 SGD である。

What is the news?

2015/12 期 1Q は売上高が前年同期比 1.3%増の 9.64 億 SGD、営業利益が同 1.6%増の 1.03 億 SGD となった。オーストラリアドル安や英ポンド安による為替差損が一部の収入を相殺した。ただ、主力のタクシー事業や鉄道事業が堅調で、売上高に寄与した。会社側はオーストラリアドルや英ポンドの影響を除いたベースの売上高が同 2.3%増の 9.85 億 SGD と推計している。純利益は同 6.8%増の 6,760 万 SGD、EPS が 0.032SGD と市場予想の 0.030SGD を上回った。

8 セグメントのうち 5 セグメントの売上高が増加。主力のバス事業が同 2.3%増の 4.77 億 SGD と全体売上高の約 5 割を占めた。英ポンド安と一部のストライキの影響を受けた英国、通貨安となったオーストラリアはいずれも減収となったが、堅調なシンガポール現地事業が増収分を補った。タクシー事業は同 5.2%増の 3.22 億 SGD と 5 カ国のうち 4 カ国で増収となり、特にベトナムの増収幅が目立った。シンガポール国内で運営している鉄道ラインである North East Line、Downtown Line 1 と Punggol and Sengkang LRTs 主要 3 路線の一日当たりの乗客数がそれぞれ増加しており、鉄道事業の売上高が同 8.1%増の 5,100 万 SGD。また、点検/メンテナンスサービスが同 3.9%増の 2,900 万 SGD、自動車レンタル/リースは同 6.8%増の 940 万 SGD。一方、自動車エンジニアリング事業が同 24.4%減の 5,840 万 SGD となったほか、自動車教習所やバス停事業も小幅に減収となった。

How do we view this?

2015/12 通期には会社側はシンガポール、英国のバス事業の増収を見込んでおり、シンガポールのタクシー事業も増収を予想している。英国やオーストラリアでの現地企業買収など、海外主要市場における業務拡大にも注力する計画。また、シンガポールで Downtown Line 2 の稼働開始までの期間を短縮し、2016/1Q に稼働する可能性を会社は見込んでおり、現地の鉄道事業の拡大も期待できよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=92.02円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
売上高(百万SGD)	3,545	3,748	4,051	4,237	4,384
純利益(百万SGD)	249	263	284	312	343
EPS(SGD)	0.12	0.12	0.13	0.15	0.17
PER(倍)	25.50	25.50	23.54	20.40	18.00
BPS(SGD)	0.96	1.01	1.02	1.09	1.13
PBR(倍)	3.19	3.03	3.00	2.81	2.71
配当(SGD)	0.06	0.07	0.08	0.09	0.12
配当利回り(%)	1.96	2.29	2.61	2.94	3.92

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

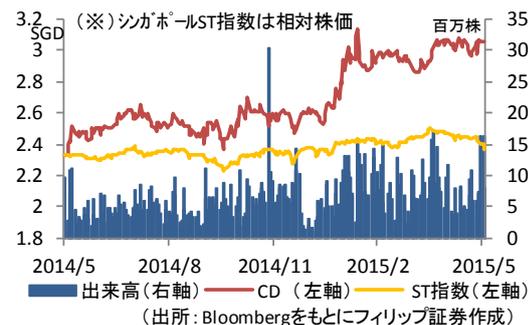
配当予想(USD) 0.09 (予想はBloomberg)
終値(USD) 3.06 2015/6/2

会社概要

2003年に設立したシンガポール国内最大の交通会社。バス、タクシー、自動車リース、レンタル、自動車エンジニアリング、保守サービスの提供、ディーゼル販売に従事。投資目的の売買、車検、査定、広告サービスも手掛けている。中国・英国・豪州・マレーシア・アイルランド・ベトナムに事業を展開している。

企業データ(2015/6/2)

ペーバ値 0.88
時価総額(百万SGD) 6,568
企業価値=EV(百万SGD) 7,069
3か月平均売買代金(百万SGD) 23.88



主要株主(2015/6)

(%)
1.The Capital Group Companies 6.04
2.Black Rock 5.99
3.Singapore Labor Foundation 2.44

アナリスト

袁鳴 +81 3 36660707

ming.yuan@phillip.co.jp

庵原 浩樹 +81 3 3666 6980

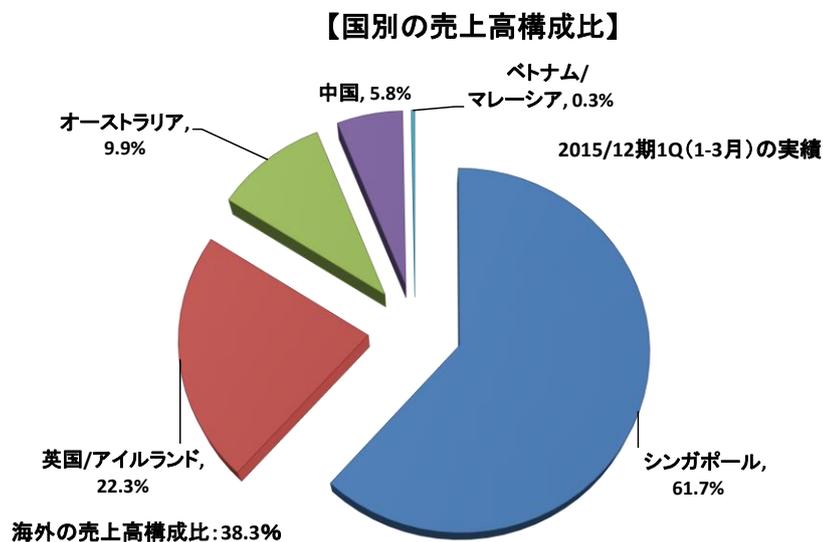
hiroki.ihara@phillip.co.jp

図表 1

セグメント別の売上高				
(百万SGD)	2014/1Q	2015/1Q	前年同期比	2015/12通期の会社見通し
バス	466.7	477.3	2.27%	シンガポールと英国: 増収 豪州: 横ばい
タクシー	305.8	321.8	5.2%	シンガポール: 増収 英国、中国とベトナム: 横ばい 豪州: 減収
鉄道	47.2	51.0	8.1%	増収
バス停	8.3	7.9	-4.8%	横ばい
自動車エンジニアリング	77.2	58.4	-24.4%	減収
点検/テストサービス	27.9	29.0	3.9%	増収
自動車レンタル/リース	8.8	9.4	6.8%	横ばい
自動車教習所	9.6	9.5	-1.0%	横ばい
合計	951.5	964.3	1.3%	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

図表 2



(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。